

1) 研究課題名

子宮頸部扁平上皮系異形成の分子病理学的解析

2) 研究の目的と意義

子宮頸部扁平上皮系異形成は病理組織学的診断基準に基づいて Cervical intraepithelial neoplasia (CIN) 1, 2, 3 に分類されます。今回、我々は子宮頸部生検で病理組織学的に CIN1-3, squamous cell carcinoma (SCC) と診断された症例各 10 例程度のパラフィンブロックから切片を作製し、増殖マーカーである ki-67, Human papilloma virus (HPV) の capsid タンパクに対する抗体、アポトーシスの指標である caspase-3 に対する抗体、p16, 21, 53 に対する抗体などを用いて免疫組織化学染色を行い、各分類間の陽性率を比較する研究を企画しました。同時に HPV-DNA に対する In situ hybridization を行い、HPV が DNA に組み込まれているか否かの検討を行い、各分類間での HPV の存在様式 (episomal か integrated か) を比較したり、ほぼ同時期の細胞診検体を用いて組織像と細胞像の形態学的な差異について比較検討したりする予定です。本研究により子宮頸部扁平上皮系異形成の分子病理学的特徴が明らかとなり、分類の妥当性の検証に有益な情報が得られると考えられます。

2) 研究の方法

検討に用いる異形成 40 例パラフィンブロックは国家公務員共済組合連合会名城病院、愛生会総合上飯田第 1 病院において平成 23 年～平成 25 年の間に病理診断に用いたホルマリン固定ブロックを使用します。ブロックから切片を薄切し、免疫組織化学染色 (ki-67, p16, 21, 53) を施行し、顕微鏡像をデジタル顕微鏡撮影装置で取得し、計測値を統計学的に比較検討します。

4) 倫理的配慮

研究に用いる材料からは、顕微鏡観察で得た形態学的情報のみを取得し、遺伝子情報などは検索しません。症例の識別に氏名は用いず、新たに付した検体番号のみを使用し、第三者による個人の特定ができないように配慮します。臨床所見、病情報も匿名化されたデータとして扱います。

5) 研究機関

名古屋大学医学部保健学科

6) 苦情等の連絡先

名古屋大学医学部保健学科庶務掛

電話番号：052-719-1504

名古屋大学医学部保健学科検査技術科学専攻病因・病態検査学講座

長坂徹郎

住所：名古屋市東区大幸南一丁目 1 番 22 号

電話番号：052-719-3152, FAX:052-719-3152